

<Q6 不活化とは何ですか。>

不活化とは、微生物などの病原体（この場合はインフルエンザウイルス）を熱、紫外線、薬剤などで死滅させる（感染性を失わせる）ことをいいます。

インフルエンザウイルスは加熱、アルコールなどの薬剤で不活化できます。また、pH6 以下で不安定となり、pH3 以下では不活化されます。

加熱による不活化に関して、インフルエンザウイルスは60℃なら30 分の加熱で不活化されますが、加熱温度が高くなれば不活化に必要な時間はさらに短くなります。WHO では食品の内部温度が70℃になるよう加熱することを推奨しています。